

有機農業

農薬・化学肥料の不使用・使用低減

温室効果ガスの削減・吸収

スマート農業省力化技術

食品ロス削減

国産、地場産の供給拡大

その他

松本牧場（群馬県嬬恋村）



【生産概要】（令和4年産）

乳用牛 経産牛52頭、育成牛20頭（預託含む）

（ホルスタイン、ブラウンスイス、ホルスタインとブラウンスイスのF1）

有機牧草 40ha（オーチャードグラス、チモシー、リードキャナリーグラス、赤クローバの混播）

【経営概要】 家族経営、雇用 2名（研修生1名含む）

代表者：松本のぼる

【販売概要】 カフェと販売を行う自家店舗「牛乳屋」（営業期間：4月下旬～11月上旬）で牛乳や乳製品を販売するとともに、「手づくり牧草の牛乳」として県内外の有機食品取扱い店舗にて販売している。

◆取組の概要

乳業会社から一緒に「有機牛乳」に取り組もうとの誘いを受けた際、牛乳アレルギーは飼養中に与える餌に含まれる化学物質の影響が大きいことを知り、安心しておいしく飲んでもらえる牛乳を作るため、平成23年3月に有機JAS認証を取得し、有機牧草・有機飼料にこだわった生産に取り組んでいる。

◆取組のメリット

農薬や化学肥料、化学合成物質（殺虫剤、除草剤など）を使用せずに育てた自家有機牧草を主体に、有機JAS認証穀物飼料や非遺伝子組み替え穀物飼料を与え、毎日放牧しているため、牛は健康で寿命も長い。

また、生乳の品質が良く、雑菌数が少ないことから「低温殺菌牛乳」として有機JAS認証工場で加工、安心しておいしい牛乳を届けることができている。

◆有機畜産物JAS規格認証取得にあたっての苦労や課題

有機JASの認証要件として預託した育成牛を搾乳する場合、頭数に制限（搾乳頭数の1割以内）があるため、自家育成を増やしたいが、人手も施設も足りず、規模拡大が難しい。

有機飼料価格も高騰していることから収益が減少している。